

厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業

「要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション/
リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究」

平成 27 年度分担研究報告書

リハビリテーションマネジメントの現状分析及び手法の開発に関する研究

研究分担者 小林 法一（首都大学東京人間健康科学研究科 教授）
植松 光俊（星城大学リハビリテーション学部 教授）
川越 雅弘（国立社会保障・人口問題研究所 部長）
研究協力者 小林 毅（千葉県立保健医療大学健康科学部 准教授）

【概要】

要介護高齢者の生活期におけるリハビリテーション（以下、リハ）では、多職種協働を前提としたリハマネジメントの効果的な実施が重要であるが、その手法は十分に確立されているとはいえない。効果的な手法の開発に向けて、まずは現在のリハマネジメントの実態を把握し、課題を明確にした上でマニュアル化を図る必要がある。

ところで、リハマネジメントの内容はリハ計画書に記録されるが、その記載内容は文章による定性的データが含まれており、また用語（述語）の使用においても職種間・個人間・施設間でバラツキが見られる。データ収集と分析の精度を高めるためには、用語の統一や整理が必須である。

そこで、リハマネジメントの実態調査のための枠組みづくりの一環として、リハ目標とリハ支援内容のコーディング（コード化）に取り組んだ。

その結果、リハ目標コード 23 項目、リハ支援コード 42 項目からなるリハビリテーションサービスの標準コードを完成させた。これらのコードは、臨床家の文書記録のうちリハ目標とリハ支援内容に関する内容に焦点を当て、ICF の概念を参考に演繹的にコード化したものである。

今後、臨床家にはコードを用いた記録を求め、これをデータとすることで、効率的なデータ収集と分析が可能になる。実践内容の透明性も高まり、リハビリテーションサービスの質の向上にも繋がると予想される。

A. 研究目的

要介護高齢者の生活期におけるリハビリテーション（以下、リハ）では、個人の状態や目標に合わせて、種々の生活機能（心身機能・活動・参加）にバランスよくアプローチすることが求められている。このためには、多職種協働を前提としたリハマネジメントの効果的な実施が重要であるが、その手法は十分に確立されているとはいえない。効果的な手法の開発に向けて、まずは現在のリハマネジメントの実態を把握し、課題を明確にした上でマニュアル化を図る必要がある。

ところで、リハマネジメントの内容はリハビリテーション計画書に記録されるが、その記載内容は文章による定性的データが含まれており、また用語（述語）の使用においても職種間・個人間・施設間でバラツキが見られる。図1は収集するrawデータ（リハビリテーションサービス）のサンプルである。文章による質的な情報が多く、また情報量（詳細さ）にもバラツキがみられる。分析の精度を高めるには、前処理として「情報量の均一化」および「質的情報の圧縮（コード化）」が必要なことがわかる。

そこで、本研究ではリハマネジメントの実態調査のための枠組みづくりの一環として、リハ目標とリハ支援内容のコーディング（コード化）に取り組んだ。

通所・訪問リハビリテーション計画書				<input checked="" type="checkbox"/>	訪問	<input checked="" type="checkbox"/>	通所	(No. _____)	
氏名:	様	作成年月日	H27年5月28日	~	見直し予定時期	9	月頃		
リハビリテーションマネジメント		リハビリテーションマネジメント	<input checked="" type="checkbox"/>	訪問・通所頻度	(訪1回 通2回)	利用時間	(_____)	送迎なし	
リハビリテーションサービス									
No.	目標(解決すべき課題)		期間	具体的支援内容(何を目的に(～ために)～をする)			頻度	時間	訪問の必要性
1	食事用意	簡単な食事の用意	6か月	<input type="checkbox"/> 短期集中(個別)リハ <input type="checkbox"/> 生活行為向上リハ <input type="checkbox"/> 認知症短期集中リハ <input checked="" type="checkbox"/> 理学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 作業療法 <input checked="" type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> その他()	・家事動作に必要な上肢機能の訓練 ・杖を使用しての歩行練習(屋内、屋外) ・歩行・移動練習 ・安全に出入りを行えるよう段階昇降練習 ・階段昇降練習 ・屋外での洗濯物干しができるように環境整備をする ・環境整備 ・起居動作練習 ・草むしりが出来るよう、低い台からの立ち上がり練習	通所 1回/週 訪問	40分	いつ頃	
2		自宅での家事動作が出来るよう、全身の体力を強化する。	6か月	<input type="checkbox"/> 短期集中(個別)リハ <input type="checkbox"/> 生活行為向上リハ <input type="checkbox"/> 認知症短期集中リハ <input checked="" type="checkbox"/> 理学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 作業療法 <input checked="" type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> その他()	・全身持久力訓練 ・筋力訓練 ・作業耐久性の向上のための体力向上トレーニング(杖を使用しての歩行練習) ・平行棒を使用しての応用歩行練習(ふらつき、転倒予防) ・両下肢の筋力強化練習 ・立位バランス練習	通所 2回/週 訪問	20分	いつ頃	
3	食事の後片付け	食事の後片付け	6か月	<input type="checkbox"/> 短期集中(個別)リハ <input type="checkbox"/> 生活行為向上リハ <input type="checkbox"/> 認知症短期集中リハ <input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他(デイケア利用時)	・ケア ・調理行為練習 ・食事の後片付け練習 ・作業耐久性の強化のため、お茶の準備、片付けを介護士と一緒に行う。	通所 2回/週 訪問	10分	いつ頃	
4		体力向上 上肢機能の維持	6か月	<input type="checkbox"/> 短期集中(個別)リハ <input type="checkbox"/> 生活行為向上リハ <input type="checkbox"/> 認知症短期集中リハ <input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自主リハ)	自主リハビリ(夫の協力) ・体力向上のため、自宅廊下の歩行練習を指導する。 [訪問] ・歩行・移動練習 ・洗濯行為練習 ・上肢機能を維持するため、洗濯物たたみ等の家事動作を夫の声かけ、手伝いをしてもらいながら行う。	通所 訪問 歩行練習 週2回 家事動作 週3回		いつ頃	

図1 - 1 リハビリテーションサービスの記載例(その1)

通所・訪問リハビリテーション計画書				<input checked="" type="checkbox"/> 訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 通所	(No.)
氏名:	様	作成年月日	H27年5月28日	~	見直し予定時期	9月頃
リハビリテーションマネジメント	リハビリテーションマネジメント	<input checked="" type="checkbox"/> 訪問・通所頻度	(通3回)	利用時間	()	送迎なし
リハビリテーションサービス						
No.	目標(解決すべき課題)	期間	具体的支援内容(何を目的に(～のために)～をする)	頻度	時間	訪問の必要性
1	家族の介助でベッドから車椅子への移乗ができる	1か月	<input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ヘルパー)	起居動作練習 移乗動作練習 介護指導	通所 3回/週 訪問	20分 いつ頃
2	歩行の獲得(家族の介助で外出や外食ができる)	6か月	<input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> その他(フィッツ)	姿勢保持練習 筋持久力訓練	通所 2回/週 訪問	20分 いつ頃
3	嚥下能力の状態変化に合わせて食事形態を提案する	6か月	<input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input checked="" type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> その他()	嚥下訓練 介護指導	通所 1回/週 訪問	10分 いつ頃
4			<input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> その他()		通所 訪問	いつ頃

図1 - 2 リハビリテーションサービスの記載例(その2)

B. 方法

本研究課題すなわち「生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション・リハビリテーションマネジメントのあり方の検討」を鑑みて、以下の方針を進めた。

ICF(国際生活機能分類)の項目概念を可能な限り活用し、コードの定義に利用する〔演繹的コーディング〕。

ICFの定義でカバーできない概念については、オリジナルの概念を合議(全会一致を原則とする)して定義する〔帰納的コーディング〕。

リハビリテーションサービス表(図1)の中の「目標(解決すべき課題)」項目(以下、目標項目)および「具体的支援内容(何を目的に(～のために)～をする)」項目(以下、支援項目)の内容をコード化する。

目標項目の内容は“生活行為”を原則とし、さらにその生活行為に“含まれる行為”を下位項目として設定する。

C．結果

1) 目標項目と含まれる行為(コード)

目標項目はこれまでの事例を参考に、比較的出現頻度の高い23項目を設けた。さらにそれぞれに“含まれる行為”を下位項目として設定した。この“含まれる行為”をリハビリテーションサービスにおける目標のコードとした。

なお、どの項目にも当てはまらない目標については「その他」として、具体的内容を記述できる様式とした。

1. 日課の遂行

- ・読書や洗濯などある単一の課題を行う
- ・複数の課題を同時または順次行う
- ・ストレスをコントロールしながら行う
- ・その他()

2. 選択と実行

- ・複数の物や事象、課題から選択し実行する
- ・その他()

3. 問題解決

- ・問題や状況を同定し、解決方法を見出し、結果を予測し、実行する。
- ・その他()

4. コミュニケーション

- ・理解(音声, 非言語, 手話, 書き言葉)
- ・表出(音声, 非言語, 手話, 書き言葉)
- ・会話
- ・用具の使用(電話, メール, PCなど)
- ・その他()

5. 姿勢保持

- ・座位保持
- ・立位保持
- ・その他()

6. 姿勢の変換

- ・姿勢を変える
- ・その他()

7. 移乗

- ・座位

- ・臥位
- ・その他()

8. 歩行や移動

- ・屋内(短距離)歩行(階段昇降などを含む)
 - ・屋外短距離歩行
 - ・長距離歩行
 - ・道具(杖、車いす、歩行器、下肢装具)を用いての移動
- ・その他()

9. 交通手段の利用

- ・交通機関や手段の利用
- ・運転や操作(自動車・バイク)
- ・運転や操作(自転車)
- ・その他()

10. 入浴

- ・洗体(自分の身体を洗って乾かす)
 - ・道具の操作(シャンプーや石けん, カランなど)
 - ・移乗(浴槽の出入りを含む)
- ・その他()

11. 整容

- ・身体の一部(顔や手足など)を洗う
- ・身体各部(化粧、歯、髪、爪など)の手入れ
- ・道具の操作(石けん, カラン、ピンの蓋など)
- ・その他()

12. 排泄動作

- ・排泄(排泄・生理)を計画し遂行し, 清潔にする
- ・道具の操作(ペーパー, コック, スイッチなど)
- ・移乗
- ・その他()

13. 更衣

- ・衣類を選ぶ
- ・着る
- ・脱ぐ
- ・履き物を履く(靴, 靴下など)
- ・履き物を脱ぐ

- ・その他 ()
- 14. 食事 (食べること、飲むこと)
 - ・口まで運ぶ
 - ・かむこと、飲み込むこと
 - ・その他 ()
- 15. 健康管理
 - ・服薬管理
 - ・水分補給
 - ・栄養管理
 - ・寒暖調節
 - ・運動/体操
 - ・その他 ()
- 16. 買物
 - ・買い物
 - ・運搬
 - ・その他 ()
- 17. 食事の用意
 - ・準備 (食材, 食器, 道具を選択し揃える)
 - ・手の込んだ調理
 - ・簡単な調理
 - ・温め直しのみ
 - ・その他 ()
- 18. 食事の片付け
 - ・洗浄と片付け/収納 (食材, 食器, 道具)
 - ・その他 ()
- 19. 洗濯
 - ・洗濯機/アイロンなどの使用
 - ・洗う (手洗い)
 - ・干す
 - ・畳む・しまう・片づける
 - ・運搬
 - ・その他 ()

20. 掃除や整頓（住居や敷地）
- ・掃除機の使用
 - ・掃除（ほうき、モップがけ、拭き、草むしり）
 - ・整頓
 - ・ゴミ出し
 - ・運搬
- ・その他（ ）

21. 家や車の手入れ 家電の保守・管理
- ・植物の世話，庭・畑仕事
 - ・ペットの世話
 - ・車・自転車や福祉用具の手入れ
- ・その他（ ）

22. 対人関係
- ・対人交流
 - ・近い人との交流（ ）
 - ・初対面の人との交流
 - ・専門家やサービス提供者との交流
 - ・家族や親戚との交流
 - ・パートナーとの交流
 - ・その他（ ）

23. 趣味や社会活動
- ・趣味活動，旅行，社交
 - ・サークル，学会，式典などの団体活動
 - ・その他（ ）

24. その他
- ・（ ）

2) 支援項目のコード

目標達成のために行われる具体的支援内容についても、これまでの事例を参考に、比較的出現頻度の高い42項目を設定した。

- 1 呼吸機能訓練
- 2 全身持久力訓練
- 3 関節可動域訓練
- 4 筋力維持・増強訓練
- 5 筋緊張緩和訓練
- 6 筋持久力訓練
- 7 運動機能訓練
- 8 疼痛緩和
- 9 構音機能訓練
- 10 聴覚機能訓練
- 11 摂食嚥下機能訓練
- 12 認知機能訓練
 - 12- 失行訓練
 - 12- 視空間知覚機能訓練
 - 12- 言語機能訓練
- 13 学習と課題の遂行練習
 - 13- 基礎的学習練習（模倣、反復、思考、注意集中）
 - 13- 読むことの学習練習
 - 13- 書くことの学習練習
 - 13- 計算練習
 - 13- 問題解決練習
 - 13- 意思決定練習
 - 13- 日課の遂行練習
 - 13- ストレスの対処練習
- 14 自己効力感練習
- 15 自己認識練習
- 16 コミュニケーション練習
- 17 姿勢変換保持練習
- 18 起居・移乗動作練習
- 19 歩行・移動練習
- 20 運搬練習
- 21 交通機関利用練習
- 22 一連の入浴行為練習
- 23 一連の整容行為練習
- 24 一連の排泄行為練習
- 25 一連の更衣行為練習
- 26 一連の食事行為練習
- 27 自己管理練習
- 28 買い物練習
- 29 一連の調理行為練習
- 30 食後の後片付け練習
- 31 一連の洗濯行為練習
- 32 一連の掃除・整理整頓行為練習
- 33 その他の家事（ゴミ捨て、家庭用器具の使用、持ち上げて運ぶこと）
- 34 家庭用品の手入れ練習（衣類、自動車、家電器具、福祉用具等）
- 35 家の手入れ練習
 - 35- 住居と家具の手入れ
 - 35- 屋内外の植物の手入れ
- 36 動物の世話練習
- 37 対人関係練習
- 38 余暇活動練習
- 39 仕事練習
- 40 環境調整
- 41 情報提供
- 42 介護指導

3) 目標項目コードおよび支援項目コードの定義

目標と含まれる行為、それに対応するICFコード、および本研究事業におけるコードの説明を以下に示す。カナを付記したコード(イ465など)は対応するICFコードがないか、あるいはICFと定義が異なるものである。

目標 (解決すべき課題)	含まれる行為	ICFコードとの対応 ICF(国際生活機能分類)	コードの説明
日課の遂行	読書や洗濯などある単一の課題を行う	d210	単一課題の遂行
	複数の課題を同時または順次行う	d220	複数課題の遂行
	ストレスをコントロールしながら行う	d240	ストレスとその他の心理的 要求への対処
選択と実行	複数の物や事象、課題から選択し実行する	d177	意思の決定
問題解決	問題や状況を同定し、解決方法を見出し、結果を予測し、実行する。	d175	問題解決
コミュニケーション	理解(音声、非言語、手話、書き言葉)	d310-329	
	表出(音声、非言語、手話、書き言葉)	d330-349	
	会話	d350	会話
	用具の使用(電話、メール、PCなど)	d360	コミュニケーション用具および技法の利用
姿勢保持	座位	d4153	座位の保持
	立位	d4154	立位の保持
姿勢の変換	姿勢を変えること	d410	基本的な姿勢の変換
移乗	座位	d4200	座位での乗り移り
	臥位	d4201	臥位での乗り移り
歩行や移動	屋内(短距離)歩行(階段昇降などを含む)	d4500 d4600	短距離歩行 自宅内の移動
	屋外短距離歩行	d4601 d4602	自宅以外の屋内移動？ 屋外の移動
	長距離歩行	d4501 d4602	長距離歩行 屋外の移動
	道具(杖、車いす、歩行器、下肢装具)を用いての移動	Id465	用具を用いての移動
交通手段の利用	交通機関や手段の利用	d470	交通機関や手段の利用
	運転や操作(自動車・バイク)	d4751	動力付きの交通手段の 運転
	運転や操作(自転車)	d4750	人力による交通手段の 操作

入浴	洗体(自分の身体を洗って乾かす)	d510	自分の身体を洗うこと	洗浄や乾燥のための適切な用具や手段を用い、水を使って、全身や身体の一部を洗って拭き乾かすこと。例えば、入浴すること、シャワーを浴びること、手や足、顔、髪を洗うこと、タオルで拭き乾かすこと。
	道具の操作(シャンプーや石けん、カランなど)	d440 d445	細かな手の使用 手と腕の使用	石鹸を取ったり、シャンプーその他のポンプから必要な量を出すのに必要な動きのように、手と手指を用いて、物を扱ったり、つまみあげたり、操作したり、放したりといった行為とカランやシャワーのの把手を回したり、シャワーヘッドを操作する時のように、手と腕を使って、物を動かしたり操作するのに必要な協調性のある行為を遂行すること。
	移乗(浴槽の出入りを含む)	d410 d420	基本的な姿勢の変換 乗り移り(移乗)	ある姿勢になること。ある姿勢をやめること。ある位置から他の位置への移動。例えば、椅子から立ち上がってベッドに横になる、また姿勢を変えずにベンチの上で横に移動する時や、ベッドから椅子へ移動する時のように、ある面から他の面へ移動すること。ある位置から他の位置への移動という点で、シャワーチェアから浴槽を跨ぎこす、浴槽内でしゃがむ、立ち上がる、またある面から他の面への移動という点で車椅子からシャワーチェアへの移動を含む。
整容	身体の一部(顔や手足など)を洗う	d5100	身体の一部を洗うこと	清潔にする目的で、手や顔、足、髪、爪などの身体の一部に対して、水や石鹸、その他のものを用いること。
	身体各部(化粧、歯、髪、爪など)の手入れ	d520	身体各部の手入れ	肌や顔、歯、頭皮、爪、陰部などの身体部位に対して、洗って乾かすこと以上の手入れをすること。例えば、肌に化粧をすることや顔を洗うこと、歯磨きや義歯を洗うこと、櫛で髪をとかすこと、爪切りや耳かきなどをやる行為のこと。
	道具の操作(石けん、カラン、ピンの蓋など)	d440 445	細かな手の使用 手と腕の使用	肌や顔の手入れのために化粧の際のコンパクトやパフの操作、歯ブラシや髪をとかすための櫛の操作、カミソリや爪切り、耳かき棒の操作に必要な動きのように、手と手指を用いて、物を扱ったり、つまみあげたり、操作したり、放したり、または手と腕を使って、物を動かしたり操作するのに必要な協調性のある行為を遂行すること。
排泄動作	排泄(排泄・生理)を計画し遂行し、清潔にする	d530	排泄	排泄(生理、排尿、排便)を計画し、遂行するとともに、その後清潔にすること。
	道具の操作(ペーパー、コック、スイッチなど)	d440 d445	細かな手の使用 手と腕の使用	トイレペーパーを取ったり、水栓のコックや把手、その他のスイッチを回すのに必要な動きのように、手と手指を用いて、物を扱ったり、つまみあげたり、操作したり、放したり、また手と腕を使って、物を動かしたり操作するのに必要な協調性のある行為を遂行すること。
	移乗	d410 d420	基本的な姿勢の変換 乗り移り(移乗)	ある姿勢になること。ある姿勢をやめること。ある位置から他の位置への移動。例えば、椅子から立ち上がってベッドに横になる、また姿勢を変えずにベンチの上で横に移動する時や、ベッドから椅子へ移動する時のように、ある面から他の面へ移動すること。ある位置から他の位置への移動という点で、いざり動作からの便器への移動、便器上でしゃがむ、立ち上がる、またある面から他の面への移動という点で車椅子から便器への移動を含む。
更衣	衣類を選ぶ	d5404	適切な衣類の選択	明示されたあるいは暗黙の衣服についての慣例(ドレスコード)や、社会的あるいは文化的習慣に従うこと、気候条件やTPO(Time, Place, Occasion)に合わせて衣服を選ぶこと。
	着る	d5400	衣類を着ること	手際よく、身体のださまな部位に衣服を着ること。例えば、頭、腕、肩、上半身、下半身に衣服を着ること。手袋や帽子を身につけること。
	脱ぐ	d5401	衣類を脱ぐこと	手際よく、身体のださまな部位に衣服を脱ぐこと。例えば、頭、腕、肩、上半身、下半身に衣服を着ること。手袋や帽子を脱ぐこと。
	履き物を履く(靴、靴下など)	d5402	履き物を履くこと	手際よく、靴下、ストッキングなど、履き物(靴など)を履くこと。
	履き物を脱ぐ	d5403	履き物を脱ぐこと	手際よく、靴下、ストッキングなど、履き物(靴など)を脱ぐこと。
食事 (食えること、飲むこと)	口まで運ぶ	d550 d560 + d430 d440 d445	食えること 飲むこと (+物の運搬・移動・操作: d430-d449) 持ち上げること 細かな手の使用 手と腕の使用	提供された食べ物を手際よく口の運び、文化的に許容される方法で食えること。例えば、食べ物を細かく切る、砕く、瓶や缶を開ける、はしやフォークなどを使う、食事をとる、会食をする、正餐をとること。また、文化的に許容される方法で、飲み物を容器に取り、口に運び、飲むこと。飲み物を混ぜる、かきまぜる、注ぐ、瓶や缶を開ける、ストローを使って飲む、蛇口や泉などの流水から飲む、母乳を飲むこと。食べ物や飲み物を口に運ぶために必要な適切な運搬方法の選択と協調性のある行為を遂行することを含む。
	口の中でかむこと、飲み込むこと	b510	摂食機能	固形物(食べ物)や液体(飲み物)を口から身体に取り入れ、処理する機能のうち咀嚼する機能。例えば、食べ物や飲み物を認知して口に運んだ後、口の中に吸い込み、咀嚼して飲み込みやすい形状(食塊)にまとめ、舌によって口腔から咽頭に送り込み、嚥下反射によって食道に送る一連の流れのこと。口から食道へ運ぶのと逆の逆流や嘔吐を含む。

健康管理	服薬管理	Id5702	健康の維持	専門家の助力を求めること。医療上その他の健康上の助言に従うこと。けがや感染症、薬物使用、性感染症などの健康上のリスクを回避するための自己管理すること。
	水分補給	Id5701	食事や体調の管理	脱水による体力低下の防止や活動維持のための適量の水分補給の必要性を意識した上で、自己管理すること。
	栄養管理	Id5701	食事や体調の管理	栄養のある食べ物の選択や摂取の必要性を意識した上で、自己管理すること。
	寒暖調節	Id5700	身体的快適性の確保	快適な姿勢をとったり、暑すぎず寒すぎないようにしたり、適度な照明下にあることの必要性を意識し、それを確保することで、自己管理すること。
	運動・体操	Id5701	食事や体調の管理	体力維持のための適度な運動や体操の必要性を意識した上で、自己管理すること。
買物	買い物	d6200	買い物	代金を支払い、日々の生活に必要な物品とサービスを購入すること(仲介者に買い物をするよう指導や監督することを含む)。
		d460	さまざまな場所での移動	屋内、屋外などさまざまな場所や状況での歩行や移動(車いすでの移動を含む)
	運搬	d430	持ち上げることと運ぶこと	物を持ち上げること、ある場所から別の場所へと物を持っていくこと。手に持ったり、背負ったりして運搬すること。置くこと。
食事の用意	準備(食材、食器、道具を選択し揃える)			献立を考え、必要な材料を選択し、調理するための道具を揃えること。
	手の込んだ調理	d6300 + d430	簡単な食事の調理 持ち上げて運ぶこと	少数の材料を用いて、簡単に準備や配膳ができるような食事を準備し、調理し、配膳(食器や鍋、釜を手持ったり、その他の方法で運ぶことを含む)すること。例えば、軽食や小皿料理を作ること。米やポテトのような食べ物を切ったり、かきまぜたり、ゆでたり、加熱して食材を加工すること。
	簡単な調理	d6301 + d430	手の込んだ食事の調理 持ち上げて運ぶこと	多数の材料を用いて、手の込んだ方法で準備や配膳するような食事を計画し、準備し、調理し、配膳(食器や鍋、釜を手持ったり、その他の方法で運ぶことを含む)すること。例えば、フルコースメニューを計画すること。皮をむいたり、スライスしたり、混ぜたり、こねたり、かきまぜる行為を組み合わせで食材を加工すること。その場の状況と文化にふさわしいマネーで食事を提供し配膳すること。
	温め直しのみ	d6403	家庭用器具の使用	あらゆる種類の家庭用器具を使用すること。例えば、レンジやオーブン、その他を使用すること。
食事の片付け	洗浄と片付け・収納(食材、食器、道具)	d6401	台所の掃除と台所用具の洗浄	調理後の後片付け。例えば、皿、鉢、鍋、調理道具を洗うこと(棚や食器棚に運び、整理整頓して戻すことを含む)。また、調理や、食事の場所のテーブルや床を掃除すること。
洗濯	洗濯機・アイロンなどの使用	d6403	家庭用器具の使用	あらゆる種類の家庭用器具を使用すること。例えば、洗濯機、乾燥機、アイロンを使用すること
	洗う(手洗い)	Id6400	衣服や衣類の洗濯と乾燥(手洗い)	衣服や衣類を手洗いすること。
	干す	Id6400	衣服や衣類の洗濯と乾燥(干す)	洗濯物を空中に掛けて乾かすこと。乾燥機の使用は「洗濯機・アイロンなどの使用」でチェックする
	畳む・しまう・片づける	d6404	日常必需品の貯蔵	衣服や選択した物をしまうこと。タンスやハンガースタンドなどに適切に収めること。
	運搬	d430	持ち上げることと運ぶこと	物を持ち上げること、ある場所から別の場所へと物を持っていくこと。手に持ったり、背負ったりして運搬すること。置くこと。
掃除や整頓(住居や敷地)	掃除機の使用	Id6403	家庭用器具の使用	掃除機を使って掃除をすること
	掃除(ほうき、モップがけ、拭き、草むしり)	Id6402	居住部分の掃除(ほうき、モップ掛け)	床を掃くこと、モップがけ、家具や窓の拭き掃除、敷地の草むしり
	整頓	Id6402 d6404	居住部分の掃除(整頓) 日常必需品の貯蔵	住居内の物品を整頓したり収納する
	ゴミ出し	d6405	ゴミ捨て	住居や敷地内のごみを集めて捨てる、始末する。
	運搬	d430	持ち上げることと運ぶこと	物を持ち上げること、ある場所から別の場所へと物を持っていくこと。手に持ったり、背負ったりして運搬すること。置くこと。
家や車の手入れ	家電の保守・管理	d6502	家庭内器具の手入れ	電球交換など、あらゆる家庭内の器具の補修や手入れをすること
	植物の世話、庭・畑仕事	d6505	屋内外の植物の手入れ	屋内外の植物の世話。例えば、植えること、水やり、肥料まき、ガーデニング、家庭菜園など。但し職業としての農業は含めない
	ペットの世話	d6506	動物の世話	餌を与える、洗う、毛並みの手入れ、運動させること、排泄物の片付け、健康管理など
	車・自転車や福祉用具の手入れ	d6503 d6504	乗り物の手入れ 福祉用具の手入れ	自転車、自家用車などの乗り物や、杖、義足、車いすなどの福祉用具を補修したり、手入れをすること
対人関係	対人交流	d710	基本的な対人交流	状況に見合った社会的に適切な方法で、対人関係をもつこと。例えば、思いやりや敬意を示すこと。他人の気持ちに対応すること。
	近い人との交流()	d750	非公式な社会的交流	友人、ご近所、同僚などとの交流
	初対面の人との交流	d730	よく知らない人との交流	例えば、道を尋ねたり、値段を尋ねたり、よく知らない人と一時的に接触する
	専門家やサービス提供者との交流	d740	公的な関係	施設スタッフや、ケアマネ、医師、役所の担当者などとの交流
	家族や親戚との交流	d760	家族関係	血縁関係者や義兄弟との交流
	パートナーとの交流	d770	親密な関係	夫や妻、恋人との交流
趣味や社会活動	趣味活動、旅行、社交	d920	レクリエーションとレジャー	あらゆる形態の遊び、レクリエーション、レジャー活動への関与。美術館、博物館、映画、演劇へ行くこと。スポーツやフィットネス。
	サークル、学会、式典などの団体活動	d910	コミュニティライフ	例えば、慈善団体、ボランティア団体、専門職の社会的団体

4) 支援項目コードの定義

具体的支援内容		説明
大項目	細項目	
1	呼吸機能訓練	無呼吸、過呼吸、不規則な呼吸、肺気腫などの呼吸機能障害を対象として、呼吸数、呼吸リズム、呼吸の深さなどの呼吸機能を維持・向上させることを目的とした訓練である。
2	全身持久力訓練	長期臥床により全身機能、特に循環器系の機能低下をきたして、患者(あるいは対象者)の耐えうる範囲での全身の筋を活動させること(全身調整訓練)と、活動範囲を拡大するために必要な動作を長く続けられるための呼吸循環機能の向上を図ることを目的とする。
3	関節可動域訓練	関節可動域の維持・改善を図るために行われもの。他者(セラピストなど)や、器械器具、患者(あるいは対象者)の自重、姿勢の変化を利用して他動運動にて行う伸張訓練も含まれる。
4	筋力維持・増強訓練	筋収縮により発生する張力である筋力を維持・向上させるために行うもので、自動運動運動、抵抗運動にて行われる。
5	筋緊張緩和訓練	痛み、痙縮や精神的な緊張等による障害部位の筋緊張亢進に対して、運動療法の実施を円滑に行うための技法。例えば、意識の集中・発散による弛緩、他動運動による弛緩、筋収縮後の弛緩などによる筋弛緩や全身弛緩訓練(例:自律訓練法)がある。
6	筋持久力訓練	身体の個別部位に対して比較的長時間仕事をする筋能力を向上させる目的で行うもので、中等度の負荷程度にて頻度を多く行う訓練である。
7	運動機能訓練	運動・動作を円滑に行うことを目的に行うもので、個々の筋の収縮の大きさと速さの調和のとれたスムーズな協調的な運動機能の維持・向上を図る訓練である。
8	疼痛緩和	日常生活動作を妨げる疼痛(全身的な痛み、身体の局所的な痛み、身体の複数の痛みなど)を緩和するための運動療法や物理療法。疼痛発生を防止するための日常生活活動動作のあり方など自己管理の方法も含む。
9	構音機能訓練	発声・発話機能の訓練、発音のゆがみの修正などの訓練である。
10	聴覚機能訓練	音を感じ聞き分ける機能向上の訓練または代償方法の検討すること。補聴器のフィッティング、会話環境の自己管理、集音器の使用訓練である。
11	摂食嚥下機能訓練	咀嚼し飲み込む機能の訓練である。
12	認知機能訓練	12- 失行訓練 目的を達成するために複雑な運動を順序立てて、協調的に行為を遂行する練習をすること。例えば、急須にお茶の葉を入れる、お湯を注ぐ、湯呑にお茶を継ぐという一連の行為を順序立てて遂行する、また果物の皮をむくために適切な道具を選択することなどの訓練である。
		12- 視空間知覚機能訓練 周辺環境の中で、他のもの(他者)と自分の位置、または自分自身の身体などの位置関係の相対的な識別を獲得する訓練である。左側など一側を認識するための練習を含む。例えば、自分と物との距離を認識する、一側半側の物体の認知や探索をする訓練をすること。
		12- 言語機能訓練 言語の表出と理解の機能の訓練である。
13	学習と課題の遂行練習	13- 基礎的学習練習(模倣、反復、思考、注意集中) 集中する練習や、目標に向けたあるいは目標をもたない概念や観念、イメージを一人であるいは他人と一緒に考えたり、思いめぐらす練習、真似や物まねなどの模倣や一連の出来事を繰り返すことで学習する練習をすること。
		13- 読むことの学習練習 書かれたもの(点字を含む)を流暢で正確に読む能力を発達させ、書かれた言語(例:文字や点字で表された本、使用説明書、新聞など)の理解や解釈といった活動を遂行する練習をすること。例えば、文字やアルファベットなどを見て、流暢、かつ正確に読む練習をすること。
		13- 書くことの学習練習 文字(点字を含む)や単語を的確に意味を伝えるために表現する練習をすること。例えば、正しく綴る、正しい文法を用いる練習をすること。また、情報を伝えるために記号や言語を用いたり、新たに生み出す練習をすること。
		13- 計算練習 言葉で示された問題を解くために数学を応用して計算し、その結果を出す練習をすること。たとえば、加減乗除の計算ができるように練習すること。
		13- 問題解決練習 ある問題や状況を解決するための方法を見つけ出すために、その課題の分析、解決方法の選択とその実施、その解決方法から予期できる評価をするための練習をすること。例えば、どのようにすればよいのかの判断ができない時に、他人に助けを求めることができるよう練習すること。
		13- 意思決定練習 多くの選択肢から必要なものを選択することができるように練習すること。例えば、いくつかの品目のうち、必要な目的を認識し、目的に合った品物を購入できるように練習すること。
		13- 日課の遂行練習 日々の日常生活を実施するために必要な段取り(計画・管理など)や達成するための行為を遂行ができるよう練習すること。例えば、1日の中での活動の時間を調節する、実行すべき内容の計画を立て、実行する練習をすること。
13- ストレスの対処練習 ストレスや心の動揺、危険を伴うような課題を遂行するときに、心理的欲求を管理して、目的を達成するための行為を遂行する練習をすること。例えば、しなければならない要件(義務)がいくつか重なった時に、優先順位をつける、臨機応変に行動するなどの行為ができるよう練習すること。		
14	自己効力感練習	自己効力感(自分が必要な行動をうまく遂行できるという期待)の向上を図る練習をすること。例えば本人が少し難しいと感じる課題の成功を体験させたり、周囲の賞賛が得られるような作品を完成させる練習をすること。
15	自己認識練習	自己の能力を正しく見積もる練習をすること。例えばある活動や生活行為を実際に行い、自分に対する過大評価・過小評価に気づくよう促す練習をすること。
16	コミュニケーション練習	言語、非言語、電話やパソコンにより考えやアイデアを交換する練習をすること。
17	姿勢変換保持練習	臥位、しゃがみ位、ひざまづいた姿勢、座位、立位の保持のための能力の維持・向上のための訓練である。
18	起居・移乗動作練習	起居(寝返り、起き上がり、椅子・床からの立ち上がり・座るなど)や移乗動作(姿勢を変えずにベンチの上で横に移動する時や、ベッドから椅子への移動の時のように、ある面から他の面へと移動すること、つまり座位あるいは臥位のままで乗り移り)の能力向上のために練習すること。

19	歩行・移動練習	歩行(目標に必要な短距離・長距離や、さまざまな地面や床面上の歩行や障害物を避けての応用歩行など)や、歩行以外の方法によってある場所から別の場所へ身体全体を移動させる移動動作(這う、坂の昇り降り、走る、跳ぶ、水泳など)の能力を維持・向上するために練習すること。
20	運搬練習	物を持ち上げること、ある場所から別の場所へと物を持っていくことの練習をすること。手に持ったり、背負ったりし、ワゴンを利用したりする練習をすること。
21	交通機関利用練習	移動のために、乗客として交通機関や手段を用いること。例えば、自動車、バス、タクシー、バス、電車、地下鉄、船や飛行機などを利用できるように練習すること。
22	一連の入浴行為練習	入浴のために、必要なものを準備し、洗浄や乾燥のための適切な用具や手段を用い、水を使って、全身や身体の一部を洗って拭き乾かす一連の行為の練習をすること。例えば、入浴すること、シャワーを浴びること、手や足、顔、髪を洗うこと、タオルで拭き乾かす練習をすること。
23	一連の整容行為練習	肌や顔、歯、頭皮、爪、陰部などの身体部位に対して、洗って乾かすこと以上の手入れの一連の行為をする練習をすること。例えば、脱毛や日焼け止めを塗る、化粧をする、歯磨きや義歯の手入れをする、髪をとかす、爪を切ることやマニキュアなどで装飾をする、耳垢を取る、陰部を清潔に保つ練習をすること。
24	一連の排泄行為練習	排泄(生理、排尿、排便)を計画し、遂行するとともに、その後清潔にする一連の行為の練習をすること。
25	一連の更衣行為練習	社会的状況と気候条件、TPOに合わせて、順序だった衣服と履物の着脱を手際よく行う一連の行為の練習をすること。例えば、シャツ、スカート、ブラウス、ズボン、下着、サリー、和服、タイツ、帽子、手袋、コート、靴、ブーツ、サンダル、スリッパなどの選択・着脱と調節の練習をすること。
26	一連の食事行為練習	食べ物や飲み物を文化的に許容される方法で手際よく口に運び、口に入れる一連の行為の練習をすること。例えば、はしやフォークなどで食べ物を食べやすい大きさに切る、飲み物を容器に取り分ける(ストローを使うことを含む)、適切な道具で口まで運び、入れる練習をすること。
27	自己管理練習	専門家が計画・提案した練習メニューを自己管理下で実行する練習をすること。また、自分で健康管理するための練習をすること。家族や他職種の管理下で行う練習をすること。
28	買い物練習	代金を支払い、日々の生活に必要な物品とサービスを手入する一連の行為の練習をすること。(仲介者に買い物をするように指導や監督することを含む)。例えば、店や市場で食料、飲み物、清掃用具、家庭用品、衣服を選択する練習をすること。必要な物品の質や価格を比較する練習をすること。選択した物品、サービス、支払い交渉と支払い、物品の運搬の練習をすること。
29	一連の調理行為練習	自分や他人のために、簡単あるいは手の込んだ食事を計画し、準備し、調理し、配膳する一連の行為の練習をすること。例えば、献立を立てること、飲食物を選択すること、食事の材料を手入すること、加熱して調理すること、冷たい飲食物を準備すること、食べ物を配膳することなどの練習。例えば、食材の手入や加熱調理する、配膳する練習をすること。
30	食後の後片付け練習	皿、鉢、鍋、釜を洗い、乾かして、棚や食器棚に運んで整理整頓する一連の調理後の後片づけの一連の行為の練習をすること。(皿洗浄機や乾燥機の使用を含む)。
31	一連の洗濯行為練習	洗濯物を集めて洗い場まで運び、適切な方法で洗濯し、干場まで運び、干して乾かし、取り込んで運び、適切な方法の処理をしたうえで畳み、たすにしまう洗濯の一連の行為の練習をすること。(たらいと洗濯板、洗濯機、乾燥機、アイロンの使用を含む)。
32	一連の掃除・整理整頓行為練習	家族の居住部分を適切な用具を使用して清掃・整理整頓する一連の掃除行為の練習をすること。例えば、適切な用具を運び、床をほうきで掃き、雑巾やモップをかける、また家具調度を清掃する練習をすること。(掃除機、はたきなどの使用を含む)。
33	その他の家事(ゴミ捨て、家庭用器具の使用)	家庭のゴミを集めて運び、ゴミ箱などの適切な用具を使用して、集積所に集める、またはゴミ処理機で粉碎、焼却機で焼却する一連のゴミを捨てる行為の練習をすること(ゴミ処理機、焼却機などの使用を含む)。
34	家庭用品の手入れ練習(衣類、自動車、家電器具、福祉用具等)	衣服の縫製や製作する、ボタンやファスナーを補修する、靴の修理や靴磨きなどの私用品の保守管理に関する一連の行為の練習をすること(ミンソンの使用を含む)。 家庭で使用する自家用車、自転車などの乗り物を洗車する、保守点検するなどの一連の手入れをする行為の練習をすること。 生活で用いる家電用品や個人的に使用する福祉用具(義肢や装具、家事や個人的ケアのための特別な道具など)を補修したり、手入れをする練習をすること。
35	家の手入れ練習	住宅の外装や内装と住宅内部の補修、手入れをする一連の行為の練習。例えば、外装のペンキ塗り、内装の壁紙に張り替え、家具の補修と必要・適切な道具の使用、作業のために運搬する練習をすること。
	35-住居と家具の手入れ	
	35-屋内外の植物の手入れ	観賞用などの屋内外の植物の世話をする一連の行為の練習。植物を植える、水をやる、肥料を与える、剪定をする、その他の個人的な目的の直物の栽培とこれらの目的のために適切な器具を使用する練習をすること。
36	動物の世話練習	屋内外で飼育するペットの世話に関する一連の行為の練習をすること。例えば、えさを与える、洗う、毛並みを揃えることやペットの健康管理に関する練習をすること。
37	対人関係練習	状況に見合った社会文化的に適切な方法で、他者(よく知らない人、友人、知人、親戚、家族など)と交流する練習をすること。
38	余暇活動練習	あらゆる形態の遊び、レジャー活動、余暇活動に関与し、楽しみや満足、没頭を経験する練習をすること。
39	仕事練習	報酬を伴う・伴わない仕事の全体、あるいは一部の練習をすること。
40	環境調整	手すりを設置したり、家具の配置を変えたり、福祉用具を導入するなどの物理的環境の調整などの助言・指導をすること。家族への助言やご近所の手助けを得るなどの人的環境の調整の助言・指導をすること。
41	情報提供	生活行為向上に役立つ情報の提供をすること。車いすで利用できるレストランの紹介、障害者団体の行事の案内などの情報の提供をすること。
42	介護指導	家族やケアに関わる方に対する介護方法の助言・指導をすること。

D．考察およびE．結論

リハ目標コード 23 項目 ,リハ支援コード 42 項目からなるリハビリテーションサービスの標準コードを完成させた .これらのコードは ,臨床家の文書記録のうちリハ目標とリハ支援内容に関する内容に焦点を当て ,ICF の概念を参考に演繹的にコード化している .また ,ICF にない概念については ,オリジナルのコードを帰納的に定義した .さらに ,その他の項目を設けることで想定外の内容にも対応できる構成となっている .

コード化の作業には ,本研究分担者の他 ,リハビリテーションや ICF についての有識者も関与している .また決定にあたっては全会一致を原則として進めている .見直し作業も複数回実施しており ,ある程度の妥当性は担保されているといえる .

今後 ,臨床家にはコードを用いた記録を求め ,これをデータとすることで ,効率的なデータ収集と分析が可能になる .実践内容の透明性も高まり ,リハビリテーションサービスの質の向上にも繋がると予想される .また ,目標項目はすべて生活行為で構成されていることから ,心身機能ではなく ,活動・参加に焦点をあてたりハビリテーションへの意識が高まるものと思われる .

F．健康危険情報

なし

G．研究発表

なし

H．知的所有権の出願・登録状況

なし